

贈りたい 大賞

—大切な人に贈りたい1冊—

大賞受賞作

令和元年度 やまなし読書活動促進事業

音楽や映画は、大勢の人と一緒に楽しむことができます。テレビもスポーツ観戦も、友だちと一緒に楽しむことができます。ところが、読書だけは、一人だけのことです。それが読書の良さでもあります。一人で読んでいたのでは、ほんとうに本を分かったことになるでしょうか。大好きなあの人は、この本を読んだらどんなことを考えるのだろう。同じ本を読んでもらいたい。そうすれば、その本のことが深くわかるだけでなく、その人のことがもっと分かり合えるようになるのではないのでしょうか。

山梨県立図書館 館長 金田一秀穂



山梨県立図書館

〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8-1

TEL 055-255-1040 / FAX 055-255-1042

<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/> 令和元年11月12日発行

大切な人に本を贈ることは、あなたの“想い”を伝えること。

本は、あなたと贈られた人との心を通い合わせ、絆を深めます。
愛する人へ、大切な家族へ、可愛い孫へ、かけがえのない友へ……。
もしあなたが様々な場面で、大切な人に本を贈るとしたら、
どんな本を、どのような理由で選んで贈りますか？

応募総数 6,018 点。みなさまからいただいた、たくさんの“想い”。
さまざまな“想い”を、ありがとうございました。



わたしのおばあちゃんへ

古屋 璃佳さん（駿台甲府小学校）

『パンのずかん』 大森 裕子／作 白泉社

おばあちゃんは、ごはん派だ。パンを食べようと言っても、ごはんがいいって言う。でもね、パンのずかんのページをめくれば、きっとパンが食べたくなるよ。そこには、せかい中のパンがならんでいて、いいかおりまでしてきそう。わたしの気になるパンは、ブラジルのボンデケーキョ。おばあちゃんといっしょに食べてみたいな。

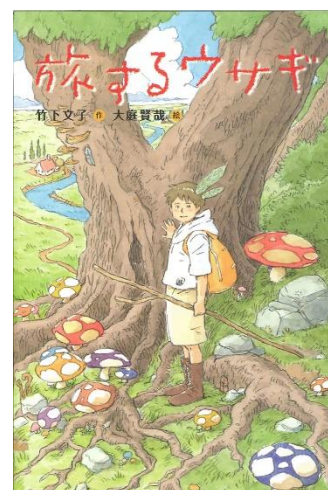


体の不自由なばあちゃんに

森田 大智 さん（山梨大学教育学部附属中学校）

『旅するウサギ』
竹下 文子／作 大庭 賢哉／絵 小峰書店

今は体が不自由になったばあちゃん。前までは旅行が好きで、いつもうちにお土産をたくさん抱えて来ていました。そんなばあちゃんに本の中に入って旅をしてもらいたいです。旅には不思議な力があって自分を変えてくれたり、何かに気付いたりします。その旅での喜びをもう一度味わってもらうために元気と共に贈りたいです。



水木さん知らない人へ

輿水 奏羽 さん（山梨県立甲府東高等学校）

『ねぼけ人生』 水木 しげる／著 ちくま文庫

「好きの力を信じる。」水木さんが残したこの言葉が私は大好きだ。水木さんの漫画や言葉は今でも多くの人に愛されている。それはそこに水木さんの全てをかけて追究したものがあから、波乱万丈人生のパワーがあるから。知れば知るほど魅力的でもっと水木さんを知りたくなるこの感覚を自伝「ねぼけ人生」で味わってほしい。



中学校生活を頑張っている妹へ

丹澤 美樹 さん（山梨県立市川高等学校）

『盲導犬不合格物語』 沢田 俊子／文 学研

盲導犬になるために訓練を受けたけれど、問題があり不合格になってしまった犬たち。不合格になってしまった後の活躍について書かれています。勉強や部活などで頑張っても、努力が実らないことも沢山あるかもしれません。けれど、頑張ったことは決して無駄にはならないことを教えてくれます。是非、この本を読んでみて下さい。



つまずいたと感じた貴方へ

鎌田 涼 さん（甲府市立甲府商科専門学校）

『世界から猫が消えたなら』

川村 元気／著 小学館文庫

大学生活を控えた春にこの本と出会い、中退となり帰省した冬に再会しました。4年の時間を失った自分に、何かを失い続ける主人公が寄りそってくれました。叱咤激励が逆に煩わしい、辛いと感じるときにこそ、共に落ち込んでくれるこの本が、一風変わった励ましになると思います。つまずいて悩む貴方に、読んでほしいです。



贈りたい本大賞 優秀賞

- 布施 絢豊さん(山城小学校)「お母さんへ」『やまなしの富士 名峰からの眺望』(上野 巖／著 山梨日日新聞社)
- 市川 ありすさん(駿台甲府小学校)「いとこへ」『ツナグ』(辻村 深月／著 新潮文庫)
- 深沢 日向子さん(竜王北中学校)「いとこの娘さんへ」
『いもうとのにゆういん』(筒井 頼子／さく 林 明子／え 福音館書店)
- 館田 朋佳さん(双葉中学校)「友達へ」『よるのばけもの』(住野 よる／著 双葉文庫)
- 野中 葉月さん(田富中学校)「妹へ」
『赤毛のアン上・下』(L.M.モンゴメリ／作 対馬 妙／訳 日本アニメーション／絵 小学館ジュニア文庫)
- 森本 悠仁さん(田富中学校)「友達へ」『失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!』(大野 正人／著 文響社)
- 萩原 愛海さん(北杜高校)「従姉妹へ」『ハリネズミの願い』(トーン・テレヘン／著 長山 さき／訳 新潮社)
- 高山 莉緒さん(韮崎工業高校)「友達へ」『かがみの孤城』(辻村 深月／著 ポプラ社)
- 入月 ひかりさん(甲府第一高校)「なかなか会えない、勉強に忙しい従姉へ」
『小説という毒を浴びる 桜庭一樹書評集』(桜庭 一樹／著 集英社)
- 森川 実咲さん(甲府西高校)「友達へ」『羊と鋼の森』(宮下 奈都／著 文春文庫)
- 平沢 桜さん(甲府南高校)「母親へ」『葡萄が目にしみる』(林 真理子／著 角川文庫)
- 山下 風香さん(甲府南高校)「妹へ」『たいせつなきみ』
(マックス・ルケード／著 セルジオ・マルティネス／絵 ホーバード・豊子／訳 いのちのことば社)
- 幡野 琴華さん(甲府東高校)「自分に自信がない人などへ」
『私は私のままで生きることにした』(キム スヒョン／著 吉川 南／訳 ワニブックス)
- 佐野 綾香さん(甲府昭和高校)「友へ」『つきのふね』(森 絵都／著 講談社)
- 池上 翔太さん(農林高校)「母へ」『銀河鉄道の夜』(宮沢 賢治／著 星の手帖社)
- 一之瀬 美夢さん(市川高校)「中高生へ」『世界から猫が消えたなら』(川村 元気／著 マガジンハウス)
- 瀧澤 里緒さん(市川高校)「母へ」『フリーター、家を買う。』(有川 浩／著 幻冬舎文庫)
- 藤原 萌子さん(塩山高校)「いとこへ」『小説 聲の形上・下』(大今 良時／原作・絵 倉橋 燿子／文 青い鳥文庫)
- 小林 茜さん(都留高校)「祖母へ」『いつでも会える』(菊田 まりこ／作 学研)
- 伊藤 司さん(上野原高校)「姉へ」『電池が切れるまで』(宮本 雅史／作 石井 勉／本文・絵 角川つばさ文庫)
- 黒部 海斗さん(上野原高校)「高校生へ」『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』(加藤 陽子／著 朝日出版社)
- 諏訪 有香さん(一般)「2年2組の子どもたちへ」『それしかないわけないでしょう』(ヨシタケ シンスケ／著 白泉社)
- 大柴 千晶さん(一般)「娘へ」『西の魔女が死んだ』(梨木 香歩／著 新潮文庫)
- 高次 浩行さん(一般)「弟へ」『雨の日には……』(相田 みつを／著 文化出版局)

学校賞

金田一秀穂館長賞 山梨県立北杜高等学校

甲府市立山城小学校 学校法人駿台甲府学園駿台甲府小学校 甲斐市立竜王北中学校
中央市立田富中学校 山梨県立韮崎工業高等学校 山梨県立甲府昭和高等学校
山梨県立市川高等学校 山梨県立上野原高等学校 学校法人自然学園自然学園高等学校